



こんにちは

# 魚沼市議会

令和6年  
第2回定例会  
No.86



消防演習 放水訓練



## Contents

- 定例会・補正予算・議案賛否の状況 ..... 2~3
- 一般質問 ..... 4~9
- 聞かせて！あなたの声「Voice」 ..... 10
- 常任・特別委員会報告 ..... 11~13
- 政務活動費 ..... 14
- 議会報告会 ..... 15
- 市民の声・あとかぎ ..... 16

【発行責任者】 議長 森島 守人

【広報広聴特別委員長】

大桃 俊彦

【副委員長】 大平 恭児

【委員】 桑原 郁夫・横山 正樹  
星 直樹・富永 三千敏

## 第2回定例会報告

令和6年第2回定例会が、6月14日から7月3日までの20日間の会期で開催されました。初日に専決処分承認5件、令和6年度一般会計補正予算ほか1件の補正予算、財産の取得、特別養護老人ホーム鮎の里改修工事等を可決し、人権擁護委員候補者の推薦について適任としました。

6月17日、18日には、12人の議員が市政全般にわたる一般質問を行いました。

7月3日の最終日には、各委員会付託の議案、市長から追加提案された議案についていずれも原案のとおり可決され、請願1件が採択されました。また、委員会発議の意見書1件を可決しました。

※議案の賛否の状況は3ページをご覧ください。

## 第2回定例会補正予算

	補正前の額	補正額	計	主 な 内 容
令和5年度 魚沼市一般会計補正予算 (第9号)(専決処分)	362億1,910万円	△9億1,850万円	353億60万円	歳入：実績に基づく物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金の減額、ふるさと寄附金及びふるさと結寄附金の繰入金からの減額調整など 歳出：事業費の確定、事業の実績見込みの精査により生じた不用額の減額及び財源内訳の変更など
令和5年度 魚沼市国民健康保険 特別会計補正予算 (第4号)(専決処分)	1億8,200万円	△430万円	1億7,770万円	守門診療所の電子カルテ整備に係る備品購入費の実績による減額
令和5年度 魚沼市介護保険 特別会計補正予算 (第3号)(専決処分)	53億7,250万円	0円	53億7,250万円	繰越明許費の設定(共同利用型住民情報システムの改修業務委託の一部に係る予算)
令和6年度 魚沼市一般会計補正予算 (第1号)	361億3,900万円	5億8,670万円	367億2,570万円	歳入：デジタル田園都市国家構想交付金の内示による増額、定額減税補足給付金、物価高騰対応重点支援地方創生交付金の追加、教育関連寄附金の計上など 歳出：定額減税補足給付金の給付、令和6年度住民税における非課税又は均等割のみ課税世帯への給付に係る経費など
令和6年度 魚沼市国民健康保険 特別会計補正予算 (第1号)	32億3,800万円	70万円	32億3,870万円	本年12月2日よりマイナンバー改正法の施行による現行の被保険者証の廃止に伴うシステム改修の内容決定による増額

## 第2回定例会議案等

◎=全会一致 ○=賛成多数で可決・承認・採択・同意、適任 ×=否決・不採択・不承認

議案番号等	付 議 事 件	議決結果	議案番号等	付 議 事 件	議決結果
予 算	議案第45号	専決処分の承認を求めることについて(専決第4号 令和5年度魚沼市一般会計補正予算(第9号))	条 例	議案第55号	魚沼市文化会館条例の一部改正について(名称改正及び社会情勢やサービスの利用実態等に合わせた適正な受益者負担を維持するための施設使用料の改正)
	議案第46号	専決処分の承認を求めることについて(専決第5号 令和5年度魚沼市国民健康保険特別会計補正予算(第4号))		議案第56号	魚沼市ふるさと回帰育英基金条例の一部改正について(寄附金を財源とし、ふるさと回帰育英基金の額を増額するもの)
	議案第47号	専決処分の承認を求めることについて(専決第6号 令和5年度魚沼市介護保険特別会計補正予算(第3号))		議案第57号	魚沼市ボランティアセンター条例の一部改正について(名称改正及び社会情勢やサービスの利用実態等に合わせた適正な受益者負担を維持するための施設使用料の改正)
	議案第50号	令和6年度魚沼市一般会計補正予算(第1号)		議案第58号	魚沼市守門健康センター条例の一部改正について(社会情勢やサービスの利用実態等に合わせた適正な受益者負担を維持するための施設使用料の改正)
	議案第51号	令和6年度魚沼市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)		議案第59号	魚沼市高齢者福祉センター条例の一部改正について(社会情勢やサービスの利用実態等に合わせた適正な受益者負担を維持するための施設使用料の改正)
条 例	議案第48号	専決処分の承認を求めることについて(専決第7号 魚沼市税条例の一部改正について)	議案第60号	魚沼市老人憩の家条例の一部改正について(社会情勢やサービスの利用実態等に合わせた適正な受益者負担を維持するための施設使用料の改正)	
	議案第49号	専決処分の承認を求めることについて(専決第8号 魚沼市国民健康保険条例の一部改正について)	議案第61号	魚沼市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について(地方自治法の改正により、ずれが生じた引用条項の改正及び物品等の取得価格を踏まえ、職員賠償責任の免除について議会の同意を要する賠償額の改正)	
	議案第52号	魚沼市暴力団排除条例の一部改正について(暴力団による公の施設の利用を制限する改正)			
	議案第53号	魚沼市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について(魚沼地域医師会連絡協議会の定める産業医報酬の改定に伴う本市の産業医報酬額の改正)			
議案第54号	魚沼市折立ふれあいの郷条例の一部改正について(社会情勢やサービスの利用実態等に合わせた適正な受益者負担を維持するための利用料金の改正)				



一般質問 (通告順)



星 直樹

内田市長の2期目の挑戦について問う



当市においては、次期市長選挙が半年後に予定されている。市民の間では、次期市長選挙の関心が高まっております。今後の市政運営の方向性に対する期待や不安も多く寄せられている。そこで、内田市長ご自身の次期市長選挙への出馬についての意向を問う。

**問** この質問は、市政の今後の方向性を明確化し、市民の不安を軽減するために大変重要だと考えている。市長選挙を半年後に控え、内田市長の考えはどうか問う。

**答** 今までを振り返ると、就任後間もなく世界中を襲った新型コロナウイルスとの対峙であった。未知の感染症から市民の命を守る感染防止対策は、まさに手探りの状況であり様々な対応が求められた。同時に、大きな打撃を受けた市民の暮らしや

地域経済の下支えもしっかり取り組んできた。何よりも市民の皆様の我慢のおかげで魚沼市全体が一丸となってコロナ禍を乗り越えることができたと思っている。合併して20年、歴代の市長がその時々にある課題に対し、目を背けることなく果敢に取り組んできた政策をしっかりと受け継ぎ、先送りすることなく取り組んできた。「継続は力なり」と言われるが、停滞させてはいけない行政課題に対し、判断を間違わずに職員とともに解決に向けて、しっかりとスピード感をもって対応することを念頭に全力で公務に取り組んでいる。

これまでの成果や公約の達成状況を振り返り、次の4年間に向けたまちづくりの根幹となる公約について、市民の皆様と対話を積み重ねながら作り上げたい。2期目に向けて挑戦することを表明する。

地域経済の下支えもしっかり取り組んできた。何よりも市民の皆様の我慢のおかげで魚沼市全体が一丸となってコロナ禍を乗り越えることができたと思っている。合併して20年、歴代の市長がその時々にある課題に対し、目を背けることなく果敢に取り組んできた政策をしっかりと受け継ぎ、先送りすることなく取り組んできた。「継続は力なり」と言われるが、停滞させてはいけない行政課題に対し、判断を間違わずに職員とともに解決に向けて、しっかりとスピード感をもって対応することを念頭に全力で公務に取り組んでいる。



浅井 宏昭

持続可能な魚沼産コシヒカリの生産体制について問う



魚沼の米農家では、農業生産資材の高騰で米農家の収入は激減し燃料高騰のあおりを受けて耕地を手放す米農家が増加し続けており、たまたまかけるように高齢化の波も押し寄せている。市のトップブランドの存続がかかるこの問題をどのような方針で進め、そして生産体制を維持し解決していくのか問う。

**問** 市内の離農者の数はどのように推移しているか。

**答** 5年ごとに調査を行う農林業センサスにおいて、本市の販売農家は、平成17年の3,009戸から調査ごとに500戸ずつ減少し令和2年には1,531戸となっている。

**問** 市内には耕作放棄地が目立つが、魚沼産コシヒカリの生産者はなぜここまで減ってしまったのか。主な要因をどう捉えているか。

**答** 生産資材の価格高騰が経営に与える影響もあるが、後継者がいないことや高齢化、機械の故障により

投資ができなく離農するケースが多くみられ、これらが生産者減少の大きな要因と考えられる。

**問** 今後は機械購入資金の助成の見直しも検討するべきではないか。

**答** 農機具の故障を機に、移譲や離農を考えている方がいるため、地域計画の話し合いのほかに地域へ出て現場の声を聴いていく。

**問** 持続可能な魚沼産コシヒカリの生産体制を維持していくためには、機械購入資金の助成の見直しも検討しつつ魚沼市版の直接支払いに取り組んではどうか。例えば、1反分につき1万円の直接支払いはどうか。この取組を始めて米農家が少しでも上向きになるように、さらに新規就農者の増加につながる取組に着手するべきだと考えるが市長はどのような考えか。

**答** 直接支払いの部分だけ除いて検討していきたい。

一般質問 (通告順)



星野みゆき

「子育てのまち」日本一  
を目指すために



**問** 子どもの生命を守るため、学校に防災用ヘルメットの配置を考えるとどうか。

**答** 各学校の意見を聞きながら検討していきたい。

**問** 企業からの寄附で防災ヘルメットを配置している自治体もある。その場合、寄附していただいた企業の名前やキャラクターなどをヘルメットに入れたりできる。このような取組も有意義ではないか。

**答** とてもいいアイデアだと思うので、それも含めて検討したい。

**問** 登下校時のクマ対策についてどのように行っているのか。

**答** 小学生にクマ除けの鈴を貸与して、ランドセルに着用している。クマの目撃情報があった学校区に対して重点的にパトロールを実施する。

通学経路にクマが現れた場合、もしくはは潜んでいる可能性が高い場合は、スクールバスの臨時運行を含めた柔軟な対応を検討する。

**問** クマ出没情報が近くで出た場合、万が一の備えとして、スクールガードにクマスプレーを貸与することは考えられないか。

**答** 有効であるならば、安全面も考慮しながら、検討していきたい。

**問** 幼少期の検診項目の中に、新たにアレルギー検査を組み込んでほしいか。

**答** 「離乳食・幼児食準備教室」のほか、妊娠期から保護者に寄り添った伴走型の相談支援の中で、いつでも相談に応じる体制を整え、今後アレルギーの検査を実施する考えはない。



徳一 遠藤

観光危機管理計画を策定しないか



自治体が計画する現行の各種防災計画だけでは観光客を守れない。観光誘客する自治体の責務として「観光危機管理計画」を策定すべきだ。災害発生時の市の対応について問う。

**問** 外国人を含む多くの観光客等が帰宅困難となり、駅や行政窓口等に押し寄せた場合の対応はどうか。

**答** 市の地域防災計画の内容に沿った対応を進めていく。

**問** 避難所への観光客の受入れ対応はどのようにするのか。

**答** 市民と同様に受入れを行う。

**問** 土砂災害で道路などの破損・崩壊などが起きた場合に、偶然、本市を通過していた観光客などへの情報提供・避難誘導等をどのように行うのか。

**答** 安全に避難所や帰路につけるよう、エリアメール等を活用し、道路状況や災害発生場所等の情報提供に努めるとともに、現場での交通誘導等を行う。

**問** 大雪で通行止めとなり、職員が非常食の配布や情報提供をした経緯がある。その後の検証で運用のマニュアル化等は行ったか。

**答** 車両滞留の対応は、原則、国等の道路管理者が行うこととなっているが、市としても協力できるように、今後、道路管理者とマニュアル化について検討していく。

**問** 旅館等は宿泊客の避難誘導や、時には避難所となり本来業務ができない。また、風評被害で営業できなくなることもさえる。観光事業者との平時からの協議が必要だと考えるがどうか。

**答** 平常時から市内観光事業者との連携が図れるような体制づくりや取組を今後研究していく。

**問** 観光客等の受入れを促進する本市の責務として観光危機管理は重要だ。計画策定に向けて着手しないか。

**答** 市の地域防災計画に基づき具体的な対応を進めていく。



大桃 俊彦

# 今こそデータセンター (DC) 建設を魚沼市で



生成AIの登場は現代社会に影響を及ぼし、その情報処理量の肥大化と処理速度の高速化は進化し続けていることから、世界中でデータセンター(DC)建設が急がれている。国は関東関西圏から地方へ適地を求めている。必要要件の「高速大容量光ファイバー網」の構築で、魚沼は全てが揃い好条件を備えている。魚沼市は、消滅可能性自治体と定義されている。将来を見据えたらDC建設は明るい未来が待っている。そこで質問する。

**問** 私は、魚沼市へDC建設を提案してきた。興味を示した事業所が数社あったが、その後の取組はどうか。

**答** その後、特に進展はないが、企業誘致に向いた際に、事業所からDC維持管理には高度な知識者を要することから関東以外では難しい話を聞いた。

**問** 魚沼では無理ということか。それならば、DC建設で集まってもらえばいい話である。何も進展がないのは、市長のトップセールスがされていないからではないか。

**答** 大企業の誘致を考えると、国からの海底ケーブルの陸揚げ地点が明確化されずに立ち止まっている。企業は、魚沼の必要要件については理解している。ケーブルの陸揚げ地点が決まり、魚沼での利用が可能な時点で積極的に展開していく。

**問** DC建設は考えられないか。

**答** 否定するものではない。海底ケーブルの件や高速大容量光ケーブルなどで、どの規模のDCを誘致すべきかも課題であることから、国の出方も見ながら検討していく。

**問** 雪を利用して設備冷却が可能となる。排出される熱エネルギーを融雪や温水プールに利用する。野菜・魚介類の養殖産業に活用できる。新たな産業で働き口が生まれ大変夢のある話である。人口減少対策で、人に来てもらえないなら、将来有望なDCに来てもらい活力ある魚沼市を目指すべきと考えるがどうか。

**答** DCの検討も手段の一つと考えるので取り組んでいきたい。



横山 正樹

# 魚沼市コミュニティ協議会の課題解決策について問う



令和5年10月に、市内コミュニティ協議会の取組内容について調査が行われた。調査分析結果をどのように捉え、今後のコミ協施策を打ち出していくのか、市長の見解を問う。

**問** 役員、委員等の担い手確保についてどうか。

**答** コミ協の在り方や役割を地域から十分に理解し、認知してもらうための取組を進め、役員の労務負担軽減策等を各組織内で検討する必要がある。

**問** 住民ニーズの高い生活支援等の取組が手薄である。事業内容はこのままでよいのか。

**答** コミ協自らが地域振興計画を策定し、住民自治による地域づくりを行っている。各組織の活動や事業は地域において必要と認識している。

**問** 活動拠点は、実質的にない状態である。また、事務局体制の脆弱さがコミ協の成長を阻害している。コミ協の組織機能を高めるため、どのような支援策を考えているか。

**答** 先ずは、既存制度を有効に活用することが重要と考える。既存の制度で対応できないケースが想定される際には、実態の把握と地域のニーズを踏まえ内容を議論していく。

魚沼市の学校プール管理について

屋外施設である学校プールの改修時期が来ていると思われる。今後の学校プール管理と水泳指導について問う。

**問** 学校プールの施設数、経過年数、プール管理費はどうか。

**答** 施設数は、小学校に9カ所(小出小2カ所)あり、経過年数は、古い施設で46年、新しい施設で7年である。管理費は令和5年度実績で、749万円となっている。

**問** 昨年度プール利用日数と夏季休業中のプール開放の実態はどうか。

**答** 少ない学校で8日、多い学校で19日である。夏季休業中は、2校で実施しそれぞれ6日と1日である。

**問** 現在、室内温水プール建設検討委員会の要望がある。市内の児童生徒が、安全で安心して利用できる室内温水プール建設に向けた検討が必要と考えるがどうか。

**答** ほかに優先すべき事業や課題を多く抱える状況にあり、検討の緊急性を考え、今すぐ対応する課題でないものと捉えている。

一般質問 (通告順)



佐藤 肇

魚沼ものづくりと産官学連携を問う



**問** 製造業界では、新製品開発や製造技術開発は常であり、大学による材料、製品試験、応用研究などが求められている。市としてのどのような支援ができるのか。

**答** 市内企業に対し、産業技術支援事業補助金を設け、技術開発等を支援している。大学と共同して研究開発を実施する場合に、補助上限額を引き上げる制度設計としている。

**問** 大学での研究費も必要であり、市が基金を設け、毎年得られる運用益を研究費の原資に充ててはどうか。

**答** 現行の支援を継続する中で、企業や大学の声を聞きより良い形を探っていくきたい。現時点では、基金の設立は考えていない。

交通安全指導について

横断歩道に止まらない車の割合と自転車のヘルメット着用率が共に新潟県は全国最下位で、自転車の運転マナーも悪い。特にシニア・高齢者世代に対する指導が課題である。

**問** 市の交通安全指導員からもつと街頭に出て指導してもらえないか。

**答** 交通安全運動等実施期間中に、街頭啓発活動や家庭訪問など警察署や交通安全協会と連携し取り組んでいる。

**問** 学校現場で、子どもたちへの自転車の交通ルール指導状況はどうか。

**答** 各学校において、子どもたちの発達段階に応じ交通安全教育に取り組んでいる。長期休業前には、交通ルール、自転車の安全な乗り方やヘルメットの着用指導を行っている。

**問** 市道に標識や自転車用路面標示を増やし、視認性を上げてはどうか。

**答** 自治会から要望があった際に、関係機関に連絡しており、交通事故多発地点には、「減速指導線」等の道路標示を設置している。また、希望する自治会には、「歩行者注意」などの看板を支給している。

**問** 自転車の悪質運転に対し、警察官の反則切符による取締りはどうか。

**答** 道路上の安全性を向上させる一助となり運転者に注意喚起をすることで、事故の未然防止につながることを考える。



関矢 孝夫

PFI事業を導入する考えはないか



当市において平成28年に出された「魚沼市公共施設等総合管理計画」では、公共施設等の維持管理・修繕・更新の実施方針で「管理運営にあつてはPFIの積極的な活用を推進します」と示されているが、いまだに一度も導入に至っていない。新ごみ処理施設整備でPFI導入の可能性調査が行われている中、市長のリーダーシップが不可欠と考え市長の見解を問う。

**問** PFI導入により期待される効果は。

**答** 一括発注・性能発注により民間事業者の資金と経営能力や技術力を活用して建設時における費用負担の軽減と効率的な公共サービスを長期にわたって安定的に提供できることであると考える。

**問** これまでPFI導入ができなかった課題はなにか。

**答** 課題というより理由として、大型事業の建設は、合併特例事業債や過疎対策事業債など財政面で非常に有利な財源を活用できる状況にあ

ることである。また、市内で実施主体となるべき事業者側の関心やニーズが伝わってこないことなどから、積極的にPFIを検討するまでには至らなかったということである。

**問** 今後、PFI事業導入を前向きに考えないか。

**答** 今年度をもって合併特例事業債の適用期間が終了することや、過疎対策事業債の適用期間が不透明であることなどから、PFI手法が本市の財政負担を軽減するうえで、最も有効な手法になると判断できる場合には活用を検討したい。長期的な財政負担や実施主体の受皿となる市内事業者の確保など課題も多いことから、そうした面も含めて引き続き研究を続けたい。

※ PFI

Private Finance Initiative (プライベート・ファイナンス・イニシアチブ) 民間資金活用手法) の略で、官民連携 (PPP) による公共事業を実施するための手法で、民間の資金と経営能力・技術力 (ノウハウ) を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行うもの。



高野甲子雄

### 保育所保育の充実を図れ



少子化が進んでいる。男女とも働いている人が当たり前になつてい  
る。保育所の人数を見直し、保育の  
充実を図るべきと考える。

**問** 0歳児、1歳児2人に1人の  
保育士に、3、4、5歳児は20人に  
1人の保育士にできないか。

**答** 国の配置基準を遵守しながら  
安定した保育が提供できるよう対応  
をしている。

**問** 会計年度任用職員の正職員化  
を図るべきではないか。

**答** 適正な人員配置に努める。

**問** 冬の通園の危険性を考えると  
これ以上の園の統廃合は行うべきで  
はない。

**答** 少子化の進展や保育ニーズ等  
を見据えた中で、求められる子育て  
支援体制の構築に向けた検討を進める。

**問** 民間保育所への定員も公立保  
育園にあわせてはどうか。

**答** 各々独自の保育方針により運  
営している中で、必要あれば加配する  
などの対応を行っているため、公立に  
合わせる必要はないと認識している。

**農業・畜産業への補助について**

**問** 米、農業、畜産業は地域の基  
幹産業である。市として米の買上げ、  
肥料、飼料の補助を行うことを考え  
るべきではないか。

**答** 米の買い上げはできないが、  
引き続き農業用肥料等高騰対策支援  
事業を実施し、生産者の負担軽減を  
図っていく。

**柏崎刈羽原発の再稼働について**

**問** 柏崎刈羽原発は中越沖地震の  
際、液状化で大きな被害が起きた。  
魚沼市は風下にあり30km圏外であつ  
ても逃げることはできないと考えら  
れる。市長は明確な再稼働には反対  
の意思表示をすべきと考えるがどうか。

**答** 発言する立場にないため答弁  
は控えさせていただきます。



佐藤 達雄

### 会計年度任用職員の処遇改善について問う



**問** 会計年度任用職員の処遇は正  
職員と比較すると賃金面、制度面で  
大きな開きがある。正職員給与が改  
定された場合には、会計年度任用職  
員も報酬改定を行い、4月に遡り差  
額支給するよう関連条例を含め改定  
すべきではないか。

**答** 今年度から会計年度任用職員  
も遡及適用をして支給するよう、関  
連条例の改正を含め準備をしたい。

**再生可能エネルギーの利用促進につ  
いて**

**問** 豊富な包蔵水力のある魚沼市  
で、最も開発しやすい地点は、農業  
用水の遊休落差を利用した小水力発  
電になる。既に市内で池平水力発電  
所72kWが、順調に稼働している。  
更なる地点開発への支援を検討すべ  
きではないか。

**答** 再生可能エネルギー普及促進  
事業として、出力10kW未満の小水

力発電設備の導入を行った市民、事  
業者に、設置経費の3分の1、最大  
60万円の補助制度を実施している。  
**農業後継者対策について**

**問** 今、農業者が毎年大きく減少  
している。農業者を支援する観点か  
らも農業機械の更新整備の支援は重  
要である。現在の耕作面積5ha以上  
を、更に間口を広げて1ha以上まで  
支援要件の緩和を望むがどうか。

**答** もう少し小さい規模の方への  
支援とのことですが、国の農業基本  
法の改正に併せて、担い手だけでは  
なくて「半農半X<sup>エックス</sup>」という所に対す  
る支援という話もある。国の基本計  
画が今年度中に策定されるので、そ  
れを見ながら市としてどこまででき  
るのか考えたい。農協では、規模が  
小さいところに対して農業機械の支  
援をしている。今年度の利用状況も  
確認しながら検討したい。



大平 恭児

### 訪問介護報酬引き下げの影響について問う



**問** 訪問介護や訪問看護は人材不足や報酬が少ないため介護サービスの提供自体が難しいといわれている。市内の現状はどうか。

**答** 令和6年4月1日現在、訪問介護は2事業所、訪問看護は3事業所となっている。

**問** 将来的に大幅に増加を見込む、訪問介護と訪問看護事業の今後の施策をどう考えているのか。

**答** 利用件数は、年々減少傾向にあるが、住み慣れた在宅での生活を望む高齢者を支えるため、訪問型の介護・看護サービスは、引き続き継続していく必要がある。

**問** 国が訪問介護の報酬を引き下げたことによる影響はどうか。また、国に対して介護報酬の抜本的な引き上げを要求するべきではないか。

**答** 介護報酬により事業を運営している事業者にとって、とても重要な問題である。その反面、国県等の負担金と介護保険料及びサービス利用料により賄われ、引き上げは、市民負担の増加に直結する問題でもある。この度の改定により市民及び事

業者への影響は、十分注視しながら有効となる取組の実施に努めていく。

**問** 今後の介護サービスを考えるうえで、需要を細かく分析する必要がある。高齢者の利用実態や生活状況などの悉皆調査を行うべきではないか。

**答** 三年に一度改定を行う「魚沼市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定時において、介護サービスの利用状況等を把握するための調査を実施している。それらの調査結果を有効に活用し、介護需要の実態把握に努めていく。

**問** ヘルメット着用は命にも関わることだ。着用率全国最下位を憂慮して県も助成している。市独自でも検討するべきではないか。

**答** まずは、事故時に自らの命を守るためにも、広くヘルメット着用の必要性を伝える。未着用者の行動変容を促す取組を優先的に進め、市民の共感を得ながら着用に対する意識醸成を図る。

自転車のヘルメット着用推進について



桑原 郁夫

### 2050年二酸化炭素排出量実質ゼロに向けた対策について問う



**問** 自然豊かな環境を守るために、当市もゼロカーボンシティ宣言をすべきと考えるが市長の見解を問う。

**答** 魚沼市地球温暖化対策実行計画（地域施策編）に基づき、温室効果ガス排出削減のための取組を進めていく。ゼロカーボンシティ宣言は、官民一体となって取組を進めていく必要がある、その啓発に向けて非常に効果的な手段の一つとして捉えている。今後実行計画に基づく取組を進める中で、議会との共同宣言も含め効果的に発信できる方法を検討していく。

義務教育の不登校問題について

**問** 近年学校環境の多様化や変化に伴い、不登校が増えていると前回的一般質問であった。一番の原因は、学業不振によるものと教育長から答弁があった。市長はその後、教育長とどのように情報共有や対策をして

いるか。また、効果は出てきているのか。

**答** 教育分野における課題は、様々な機会でも教育長と情報交換をしている。その中で学力の向上と不登校の未然防止を本市の課題として取り組んでいる。不登校対策は、これまでフラワールームの開設や各学校に教員免許を保有している支援員の配置を行い、児童生徒への支援を行っている。令和6年度は、支援員を2名増員して支援体制の充実を図っている。学業不振への対策は、今年度から新たに、月に1回、土曜もしくは日曜に学習支援を行う事業をスタートし、子どもたちが学びへの興味や楽しさに気づく機会となることを期待している。効果は、一朝一夕で現れるものではないので、引き続き教育関係の各種事業推進を図り、魅力ある学校づくりを基本に課題解決に努めたい。

# Voice

聞かせて！あなたの声

## アット ゼロ At ZERO × 市議会



地域で活躍する皆さんと、ざっくばらんに語り合うコーナーです。

第18回目は、At ZEROの皆さんからお話を伺いました。

### 太鼓を始めたきっかけとグループ紹介

もともと“越後招福太鼓”という太鼓集団で活動しています。

そんな中で女性だけで、何か新しい太鼓を始めてみたいということから、4名が声を上げ、和太鼓演奏者の坂牧さん指導のもと結成されました。まだ結成数カ月です。

太鼓にも様々な種類がありますが、そんな中でも移動しながらパフォーマンスを発揮できる“担ぎ桶太鼓”で頑張ろうということになりました。

グループ名のAt ZEROとは、音楽界での新たなスタートや挑戦、可能性の広がりを示唆する意味です。よろしくお願いします。

### メンバー構成

4人とも魚沼市の仲間です。

旧堀之内2名、広神1名、湯之谷1名です。

### グループの自慢

とにかく仲が良く、常に笑いがあり楽しく練習していますが、太鼓を担ぎ練習開始となると真剣さが自然に表れ、一生懸命な所は自慢できます。

### 活動場所と太鼓を披露する場

毎週水曜日の夜が練習日であり、いままで太鼓を披露してきた場所として雪中花水祝い、十五夜祭り、文化会館での「夏太鼓」、ほか依頼のあった地域等での演奏などですが、もっともっと地域の皆さまからAt ZEROを知っていただき声を掛けていただきたいです。



練習風景

### 今後の課題

結成間もない私たちですが、練習を積み重ね、技術を向上させて笑顔で皆さんの所へ演奏をお届けすることを課題に上げています。

### 魚沼市や市議会に臨むもの

公民館をお借りしての練習や太鼓の保管をお願いしていますが、大きな音で近所迷惑にならない練習場と太鼓等の保管場所があったら良いなど希望します。

### 市議会から一言

文化会館での「夏太鼓」を聞きに行き、結成間もないのに立派に演奏をしている姿に感動し、度胸のよさに驚きました。担ぎ桶太鼓の4人組 At ZEROが今後も大舞台で演奏する姿や地域で躍動する姿を見かけることも多くなると思います。みんなで期待しましょう。

### 総務委員会報告



4月18日・5月23日・6月21日に委員会を開催した。

#### 1 審査事件

議案第52号〜54号

※原案可決すべきものと決定

#### 2 調査事件

① 市政施行20周年を記念して実施する主な事業について

10月6日(日) フォトログейニング

魚沼2024

10月19日(土) J A魚沼農業祭×食

まちうおぬま

11月1日(金) 記念式典

11月上旬 (仮称) うおぬま防災

フェスタ2024

② 小型動力消防ポンプ付き普通積載車3台の購入について

問 3台同時に更新とのことだが使用年数はどうか。

答 いずれも25年以上を経過している。経年の理由と部品調達の問題が生じている。

問 納期が遅れた経緯もある。納入期限はどうか。

答 令和6年度中となる。実際の使用は新年度に入ることもある。

③ 行政視察について

長野県中野市「空き家対策への地域おこし協力隊制度の活用」、長野

県伊那市「災害時の動きを地域で共有する地域タイムライン」、長野県

南伊那郡南箕輪村「人口自然増(出生率増加)の村」を視察先と決定した。

3 その他

① 南本町大規模火災のその後について

問 火災の際は水利確保として水門

管理者との連携を図るとしたが、水門管理者が何人で本当に連携が可能か。

答 21委員と関係機関がある。初動

においては、まず場所を確認して、水が足らなかった場合の連絡対応を考える。

② 消防用施設の借地契約書の不備

等(課税免除)の進捗状況について

③ 本庁舎協働職員住宅の現状と今後の利活用について

本庁舎脇にある使用していない老朽化した県職員住宅を購入、改築し文書保管と職員の休憩食場所とする活用策の提案の説明を受け、質疑を行った。

問 休憩食場所として使う場合に安全が確保できるか。

答 職員が常駐する建物でないの

で、部分的な改修を行うことになると思う。

問 保存文書量の確保にはデータ化

で対応し、休憩食場所については本庁舎車寄せの上部に床を張り部屋を造って利用してはどうか。

答 データ化は必要だが膨大な文書量が単純にはできない。本庁舎の改修は積算し、利便性を検証する必要がある。

④ 新ごみ処理施設建設に伴うヘリ

ポートの移転について

新施設建設により現ヘリポートが

使用できないため、消防庁舎隣接地を新ヘリポートとして利用したいとの説明を受け、質疑した。

⑤ 旧入広瀬小学校体育館棟の利活

用について

⑥ 市民の声を聞く会での意見・要

望事項の取扱いについて

5月9日に開催した市民の声を聞く会での意見交換会で、意見があったものについて説明を受けた。取扱いについて協議し、優先度、重要性等を考慮し順次取り組むこととした。

※ フォトログейニング  
地図をもとに、時間内にチェックポイントを回り、得点を集めるスポーツのこと。

### 福祉文教委員会報告



5月1日・5月31日・6月24日に委員会を開催した。

#### 1 審査事件

請願第1号

「30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願書」

問 例年と違い大きく変わった点は何か。

答 中学校の35人以下学級を早急に実施するという点である。

※採択すべきものと決定

議案第55号

魚沼市文化会館条例の一部改正について

問 繰り返し利用している方々について、利便性も加味した料金設定にすべきではないか。

答 従来からの減免制度も設けてあるので、使用料改定後でも十分配慮できている。

議案第57号

魚沼市ボランティアセンター条例の一部改正について

問 冷房期間・暖房期間を設定した理由は何か。

答 冷房期間・暖房期間を設定した理由は何か。

**答** 指定管理者との調整によるもの。  
**議案第90号**

小出郷福祉センター等解体撤去工事  
請負契約の変更について

**問** 危険度が一番高いアスベストが出たわけで、今後このような事案が発生する可能性もあり、いろんなことを慎重に扱うべきではないかと思う。検証と今後について考えはあるのか。

**答** 庁内で情報共有をしていく。

**議案第55号**〜**71号**・**90号**

※原案可決すべきものと決定

2 調査事件

① 特別養護老人ホーム鮎の里改修工事について

移転の内容、周知方法、工事工程等説明を受けた。

② 小出郷福祉センター等解体撤去工事請負契約の変更について

設計段階では確認できなかった可視部のアスベストが想定よりも多かったことや、設計より有害なレベルのアスベストが確認され、除去方法に変更を要することになった旨の説明を受けた。

③ 湯之谷・守門地域における乗合タクシーの利用状況について

**問** 湯之谷地域が大分増えた理由は何か。

**答** 日中時間帯の路線バスが運行していないので、公共交通としてはこの乗合タクシーの利用が増えている。  
④ A1オンデマンド交通実証運行について

**問** 停留所は、どれくらいの範囲で設定予定なのか。

**答** 今現在運行しているまちなか循環線、小出地域の乗合タクシーの運行データを業者決定後に渡し、その中で実際の今のポイントの利用状況、動向を踏まえ、最適な運行方法を検討していく。

3 その他

① 路線バス「小出⇨荒金⇨浦佐線」の運行終了について

南越後観光バス株式会社より、昨今の深刻な運転手不足、全体の利用状況、収支状況を精査した結果、令和6年9月30日をもって当該路線の運行を終了する旨の説明を受けた。

② 障害者相談支援事業に係る消費税について

市が委託して、福祉事業所が行っている障害者相談支援事業を消費税は非課税としていたが、国から課税

であるとの指導を受け、過年度の延滞税も含め、修正分を市から法人へ支払うため、6月補正で対応したい旨の説明を受けた。  
③ 高齢者施設整備の進捗状況について

特別養護老人ホーム鮎の里、養護老人ホーム南山荘、特別養護老人ホームあぶるま苑の改修工事について説明を受けた。

④ 守門テナント室(守門診療所内)の応募状況等について

公募の結果申請が1件あり、審査の結果、貸付けと決定した。

⑤ 湯之谷世代間交流施設の空調機器入替工事について

⑥ 生涯学習センター建設工事の進捗状況について

⑦ 「第三期魚沼市子ども・子育て支援事業計画」の策定について

今年度(令和7年度)からの5年間を計画期間として、第三期事業計画を策定する予定である。

⑧ 基幹系システムの標準化に伴う市税の期別変更について

⑨ 教育委員会関係施設の現地調査について

旧広神庁舎1階では文化財展示ス

ペースについて、3階のフラワーームでは適応指導教室について、広神東小学校と堀之内中学校ではGIGAスクール構想用端末等の利活用について現地調査と総括を行った。



広神東小学校



堀之内中学校

# 産業建設委員会報告



5月30日・6月25日に委員会を開催した。

## 1 審査事件

議案第72号、81号・86号

原案可決すべきものと決定

## 2 調査事件

① 四日町排水機場整備事業の進捗について

**問** 四日町排水機場の圧送管工事と既存水路の接続工事は、作業場所の一部が一緒になると思うが、どちらを先にするのか。工期的には一緒でも問題ないということか。

**答** 工事の進捗に支障が生じないよう、慎重に工程を検討していく。

**問** 継続費予算も増額したいという話だが、アスベストの件も同じで、補正予算で増額対応が多いため、具体的に対応策を考えていないのか。

**答** 今回の継続費増額の件は、配管資材が特注品となり物価高騰も重なって予算が不足する結果となったが、大規模工事については、予算要求の段階から特に慎重に確認していきたい。

② 除雪車の入札結果について

③ 入広瀬温室の今後について

④ 地域計画の地区別話し合いについて

**問** 地域計画の目標地図は、耕作者が区分けした区域を越えていくことがある。全体で1枚の地図にして分かるように細かく作るのか。

**答** 地域計画については、法律で令和7年3月末までの策定を義務付けられている。そのため、昨年9月に一定規模の農家を対象として実施した意向調査や、本年1月と6月に行った話し合い、そして10月に3回目の話し合いも予定している。今年度策定するものについては、農振農用地を対象とし、昨年9月の意向調査結果と10月までの話し合い結果を反映した地図に耕作者名を入れない状態でつくっていくきたい。来年度以降、所有者名も入れて公表することが求められると思う。

⑤ 都市計画マスタープランの改定スケジュールについて

令和8年3月改定予定の第3次魚沼市総合計画に合わせて現在作業を進めている。

⑥ スキー場組織編制協議会の進捗状況について  
本年9月を目処に一本化に向けた

中間報告をする予定で進めている。

⑦ 寿和温泉ヘルス棟・プール棟解体撤去工事請負契約の変更について

不可視部分に解体設計にはない配管が見つかったため、増額による変更契約について提案する。

## 3 その他

① 有機セクターアームロール車の入札結果について

② 債権放棄（住宅3件）について

③ 水の郷工業団地用地買収について

④ 湧水対策について

⑤ 魚沼市都市ガス警報器貸付規程の一部改正について

⑥ 市民の声を聞く会での意見・要望事項の取扱いについて

⑦ 新潟県立小出特別支援学校見学会について

# 総合計画策定調査特別委員会報告

6月14日に総合計画策定調査特別委員会を開催し、各分科会で作成したアンケートと送付先の団体等について議決をした。各団体へのアンケート送付は、6月下旬から7月初旬に発送することとした。

各委員会の詳細はホームページの会議録をご覧ください

## 議会を傍聴してみませんか

市議会議場は魚沼市役所本庁舎3階にあります。傍聴の手続きは、受付用紙に氏名等を記入するだけです。お気軽においでください。学校・各種団体の場合は事前にご連絡ください。

定例会は年4回（2月、6月、9月、12月）開かれます。

このほかに、必要に応じて臨時会が開かれます。

日程は、市報お知らせ版、ホームページでお知らせしています。

## 魚沼市議会 公式YouTubeチャンネルをぜひご覧ください



市議会の様子がYouTubeにてご覧になれます。より開かれた議会を目指し発信していきます。ぜひチャンネル登録をお願いします。

# 令和5年度 魚沼市議会政務活動費の使途内訳

政務活動費とは、魚沼市議会議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、市から交付されるものです。

令和5年度の政務活動費について、実績報告に基づき使途の内訳を掲載します。

## 第6期議員（令和5年4月～令和6年3月）

（単位：円）

議員氏名 または 会派名	交付額	支 出 額										対象経費	収支 差引額 (返還額)	
		調査 研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情 活動費	会議費	資料 作成費	資料 購入費	人件費	事務所費			支出計
桑原 郁夫	96,000		53,244			22,320			24,336			99,900	99,900	
横山 正樹	96,000	6,479		58,910					25,280			90,669	90,669	5,331
星 直樹	96,000	14,471	44,600	13,200					27,566			99,837	99,837	
浅井 宏昭	96,000			180,687								180,687	180,687	
星野みゆき	96,000			107,796					55,200			162,996	162,996	
大桃 俊彦	96,000			74,250					56,734			130,984	130,984	
富永三千敏	96,000	6,479	38,915	38,727					33,804			117,925	117,925	
佐藤 敏雄	96,000	14,471				24,486			66,360			105,317	105,317	
遠藤 徳一	96,000	700	6,479	330,900		16,373			15,876			370,328	370,328	
渡辺 一美	96,000		107,290						20,635			127,925	127,925	
佐藤 肇	96,000	44,870	32,800			23,820			51,069			152,559	152,559	
関矢 孝夫	96,000		120,303	66,990		18,266			37,104			242,663	242,663	
高野甲子雄	96,000	14,471							35,525			49,996	49,996	46,004
本田 篤	96,000	14,471				18,740			51,228			84,439	84,439	11,561
志田 貢	96,000	14,471				22,320			66,360			103,151	103,151	
森島 守人	96,000	14,471		48,750		16,826			21,456			101,503	101,503	
日本共産党(所属2人)	192,000			276,227								276,227	276,227	
計	1,728,000	145,354	403,631	1,196,437		163,151			588,533			2,497,106	2,497,106	62,896

## 使 途 基 準

項 目	内 容
調査研究費	会派又は議員が行う市の事務、地方行政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費（交通費、宿泊料等）
研 修 費	会派又は議員が研修を開催するために必要な経費、団体等が開催する研修会の参加に要する経費（講師謝金、研修等参加費、交通費等）
広 報 費	会派又は議員が行う活動、市政について住民に報告するために要する経費（広報紙・報告書等印刷費、文書通信費、会場費等）
広 聴 費	会派又は議員が行う住民からの市政及び会派又は議員の活動に対する要望、意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費（資料印刷費、会場費等）
要請・陳情活動費	会派又は議員が要請、陳情活動を行うために必要な経費（資料印刷費、文書通信費、交通費等）
会 議 費	会派又は議員が行う各種会議、団体等が開催する意見交換会等各種会議への参加に要する経費（会場費、資料印刷費、参加費等）
資料作成費	会派又は議員が行う活動に必要な資料の作成に要する経費（印刷製本代、リース代等）
資料購入費	会派又は議員が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費（書籍購入費、新聞雑誌購読料等）
人 件 費	会派又は議員が行う活動を補助する職員を雇用する経費（賃金等）
事 務 所 費	会派又は議員が行う活動に必要な事務所の設置、管理に関する経費（事務所の賃貸料、維持管理費等）

# みなさんからの声を大切に

## 令和6年度 第1回市民の声を聞く会 (議会報告会)

魚沼市議会では、開かれた議会を目指し市民の声を聞く会(議会報告会)を5月9日に「虫野区高陽会館」と「福山克雪センター」の2会場で開催しました。今回の報告会では、2月定例会と令和6年度予算審査について報告をした後、参加者と意見交換会を行いました。

貴重なご意見は、各担当委員会で協議し、今後の市政運営に反映していくよう取り組んでいきます。いただいたご意見の一部を紹介します。



### 小出駅の窓口について

- ◆ 窓口がなくなって切符を買うなどの手続きができずに困っている。



### 山菜採りについて

- ◆ 山菜採りをしたい人が多いのに受け入れられていない。工夫して受け入れるべきではないか。



### 観光対策について

- ◆ 観光面で南魚沼や中魚沼と比較して遅れている。議員としてどうあるべきか聞きたい。



### 介護士・保育士について

- ◆ 介護をしている人達の給料が低い。市としても先駆的にサポートして欲しい。
- ◆ 非正職員をなるべく正職員扱いにして、きちんと子どもが守れる体制にしていくべきである。



### オーガニック給食の導入について

- ◆ 農業をやりたい人にとって明るい話題である。その窓口を広げる意味でも取組を頑張りたい。



### 温水プールについて

- ◆ 子育て日本一を標榜する魚沼市としてプール建設を要望する。議会として建設に向けての提案をお願いしたい。



### インターチェンジの名称変更について

- ◆ 名称変更によって、もたらされる効果を知りたい。



### 地域の活性化について

- ◆ 当所から他所に引っ越している人からまつりの時は帰って来てもらい、宿泊場所として空き家や公民館を利用できないか。



### スクールバスの利用について

- ◆ クマ騒動で、登下校中にクマに出くわした場合に不安である。スクールバスを利用できないか。



### 移住者の受入れについて

- ◆ 8年間で10世帯が移住して増えた地域である。モデルケースとしてもっと情報発信をして欲しい。



### 雪上桜観桜会の受入れについて

- ◆ 魅力的にしていくための必要な整備が不十分である。



### クラブ活動の地域移行について

- ◆ 子どもたちの能力を伸ばすため、さまざまな課題を解決してほしい。





穴沢 貞さん  
佐藤 貞さん

就農してかれこれ15年目を迎え、気づけばアラフィフとなり、立場や役目も随分と変わりました。そうした中で変わらないのが減り続ける米の需要。米生産者として悩ましい所ですが、世界へ目を向けると真逆の事情を抱える地域もあります。紛争や貧困、温暖化の影響で食糧難に苦しむ人たちは多くいます。それが我が子だとしたら誰かに助けてほしい。日本の米がそうした人達の助けにならないものか。ある所でそんな提案をしたところ、支援とは求められたものを届けることで、それは金銭的な支援になると言われ、意気消沈したことがあります。ごもつともですが、食料はいずれ必要になるわけで、そこに日本の米を活用できないものか。魚沼米を形ある愛として、魚沼市から世界へ届けたい。愛ある魚沼市には後継者が育ち、子どもたちのにぎやかな声が響く。そんな幸せを夢にこれからは汗をかいていきます。



堀之内 横山 有さん

私は高校卒業後、地元魚沼に残り就職をしました。地元に残っている同級生や友達は少なく、最初は寂しい気持ちもありました。ですが、地域や町内の活動に参加する機会が以前よりも増え、そこでの新しい出会いもありました。お誘いを受けて町内の駅伝部に入部し、休日はみんなが集まって走り、その後は乾杯!!と楽しく活動しています。

また、魚沼市の消防団にも入団し、ウオヌマンとしてもイベントに出演しています。イベントでは、たくさんの人たちから喜んでもらえるので、とてもやりがいを感じる事ができます。

私は、仕事やこういった地域の活動を通して魚沼に貢献できていることをとても嬉しく思います。今後大好きな魚沼のために、もつと皆さんの活動をしていきたいと考えています。ぜひ皆さんの積極的な地域の活動への参加、また、魚沼市消防団への入団待っています。

「市民の声」の原稿を募集します

- 字数3000字程度
  - 住所・氏名(匿名での掲載はできません)
- 魚沼市議会事務局  
〒946-8601  
魚沼市小出島910番地

熱中症対策として

クーリングシェルターを活用しましょう

クーリングシェルター(指定暑熱避難施設)とは、暑さをしのげる場所として、市が指定した施設です。暑い日は無理せずに、クーリングシェルターをご利用ください。

令和6年6月24日現在、公共施設8カ所、ウエルシア薬局株式会社の市内2店舗3カ所をご利用できます。



公共施設 8カ所

- 魚沼市役所本庁舎(1階ロビー)
- 小出郷図書館
- 堀之内公民館図書室
- 湯之谷公民館図書室
- 広神図書館
- 守門公民館図書室
- 入広瀬公民館図書室
- 小出公園管理棟

民間施設 2店舗 3カ所

- ウエルシア薬局新潟小出店
- ウエルシア薬局新潟小出東店
- ウエルシア新潟小出東店



詳しくは、こちらをご覧ください。

<https://www.city.uonuma.lg.jp/page/1022563.html>



あとがき

毎日の日課である小学生の登校班に付き添って行くスクールガード。4月の入学当初は真っ直ぐ歩けずフラフラ、つまり子どもたちが多かった。ランドセルが重いのか、両手を塞ぐ手荷物の体操着、絵の具道具も重いのだろう。その1年生が3カ月も経過すると見違えるように足が前に進むようになる。子どもたちの成長のスピードは認めてはいるものの、毎年驚かされる。そしてあつという間に6年生、身長も抜かれてしまう。この魚沼の宝である子どもたちの成長に接することができ、感謝している。子どもたちの明るい未来のために、私たちができることは何か。日々考えて活動していきたいと思っています。

(星 直樹)